



## 河本英敏

### 愛育委員の負担軽減を

**Q健康** 愛育委員の皆様は、地域で子どもやお年寄りなどの健康増進のために日々ご活躍いただき、心から感謝を申し上げます。しかし、愛育委員活動に対する批判の声が多く聞かれる。物品販売や募金活動への疑問の声についてどう思われるか。

**A部長** 物品販売は支部の自主的な取り組みと認識している。また募金活動は愛育委員連合会がその趣旨に賛同し、方針に基づき実施しており、会の自主性を尊重したい。

**Q健康** 愛育委員は全ての自治体で組織化されているのか。また市内には委員数ゼロの支部があると聞かすが、その役割は誰が担っているのか。

**A部長** 全てではないが全国に

は、母子保健推進委員や健康推進委員という名称のボランティアなどが組織化され、活動範囲は母子保健に限る実態が多いと聞く。委員がいない地区では町内会などに協力をいただくとともに、担当保健師などが出向き支援している。

**Q健康** 今後、活動の量と質を整理しながら、委員と市民の十分な理解を得て活躍されることを願っているのだが。

**A部長** 今後も十分な連携をとり、やりがいを持って活動できる環境づくりや、持続可能で円滑な事業運営のサポートに努めたい。



愛育委員ロゴマーク

### 攻めの農業施策実現のため 農林部の設置を考えては



## 山田 誠

**Q農業** 国は、農業者の所得倍増政策として、減反政策を廃止し「攻めの農業」を打ち出しており、付加価値の高い作物開発や産地化、また生産指導や6次産業化による加工販売の取り組み等が重要視されている。これらに即対応するため、農林部を設置してはどうか。

**A市長** 機構改革により農林部と経済文化部を統合し産業経済部としたのは、産業界の連携強化と6次産業化の推進を目的としたもの。農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化や後継者不足による地域活力の低下、遊休農地の増加などの多くの課題があるが、産業経済部が一丸となり国の政策に対応したい。

### 住民パワーと Uターン者で地域創生



久米山で行われたUターン者とのツリークライミング体験会

**Q定住** 同窓会への補助金や市の将来像をビデオで発信し、健康で知識と経験のある人のUターンを促進してはどうか。

**A部長** 就労意欲のある高齢者が活躍する社会づくりが求められており、同窓会等を活用したUターンの動機づけは、人材の掘り起こしにもつながると考える。